



海のたより



デニスコナー兼 8月ポイント
MCC優勝 ブーメラン

目次	行事予定
表紙 デニスコナー兼 8月ポイントレース	9月17日 理事長杯ヨットレース
P 2 デニスコナーカップ特別賞は弥栄	10月15日 MCC早朝レース
P 3 ラグーナカップ、デニスコナー成績表	10月22日 スモールレース
P 4 パールレース、ダンシングビーンズ	10月22日 みやまつり海中渡御
P 5 形原子供ヨット体験乗船報告	10月29日、11月4日、5日
P 6 セーリングワールド海面協力要請	東海チャンピオンシップレース

8月ポイントレース兼デニスコナーカップ&ラグーナカップ

全参加は30艇、MCC参加は8艇、デニスコナーカップ&ラグーナカップはブーメランKY(J24)が優勝。ブーメラン(J92)が準優勝&MCCでの優勝でした。

今年も特別賞が用意されておりこちらは弥栄が頂きました。(抽選で、5万円旅行券をゲット)



特別賞 弥栄からのコメント

デニスコナーカップの特別賞に、<弥栄>が選ばれました。皆さんありがとうございます
 ございます
 優勝賞品よりもよっぽど中身が良かったんじゃないかと冷やかされましたが、そんな感じもします

諦めずに表彰会場にいたのが功を奏しました

<弥栄>は、DNF ゴールには着かなかったけれど、なにかツイていたようです(^ω^)

このツキを生かしたシーズン後半戦が楽しみ

※※※

前日の練習では、相当風も吹いていて期待していたのですが、レース当日は、風も弱い

大きな船に邪魔されないようなポジションでまずまずスタート

陸よりの右海面有利と判断して、風も南(左)に触れるに違いないと、早々にタッキングし、右海面に向かいます。しかし、この判断が悪手だったようで、予想に反しての風の右振れもあり、左海面に伸ばした船と比べ大きく高さを失った

その後は、何艇かは抜くこともできましたが、1レグ目の走りが最後まで響いた結果

<弥栄>は、ゴールを目前で時間切れのDNF

目の前でマークが回収されましたが、諦めきれずにゴールラインが設定されていたところまで走りきりました。でも、コミッティには”悪足掻きしてるなあ”なんて思われたかもしれない...

優勝艇は誰だったかといえば、なんと着順最後のj24のブーメランKY号。修正で大逆転

もう少しリミット時間が長ければ、私たちの艇も...なんて思うと、悔しいですねえ

コメント
 ようやく西風になったがまだまだ暑い日、前日はしっかり吹いた風も今日はなくなり微風のレース。
 スタート時には何とかレース実行できる程度の風になった。予定通りの時間でスタート。
 1上まで右が良いか左が良いか？当初少し右が良かったが結局左が有利になった。
 ダウンウインドも風は良く振れたが豊橋マークへは結局ほぼ真上り、ながーいコースになった。
 風は少し上がり時には10k中盤以降の艇が良く走った。
 コース短縮はなくレースは続行。
 復路のダウンウインドは風も落ち、ジャイブ、ジャイブ、右が良いか？左が良いか？我慢しながらそれぞれ頑張った。
 成績表はMCCのみ再計算したものです。

セール No	艇名	TYPE	所属	MRC	到着時刻	着順	所要時間	修正時間	得点
5131	Boomerang	J92	MCC	0.984	12:59:14	2	3:09:14	3:06:12	1
5933	Dancing Beens 3	Seam 31	MCC	1.007	12:58:42	1	3:08:42	3:10:01	2
5550	Super Wave 6	Slot 31	MCC	0.983	13:05:15	4	3:15:15	3:11:56	3
5791	Hornet	Seam 31	MCC	1.009	13:01:35	3	3:11:35	3:13:18	4
4774	Armis 5	J/V9.6CR	MCC	1.010	13:05:55	5	3:15:55	3:17:53	5
6155	ANNEX V	First 36.7	MCC	1.017	13:06:04	6	3:16:04	3:19:24	6
6764	Iyasaka	Aiolos 26	MCC	0.900	DNF				
4825	BeBe	Pioneer 9FR/PB	MCC	0.911	DNF				

MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号



ラグーナデニスコーナークップ 2017

スタート時刻 9:50:00

2017/8/27

タイムリミット

13:20:30

Class	Sail No.	艇名	艇種	TRS	FINISH	着順	所要時間	秒	修正秒	ペナルティ	順位
TRS	JPN 4825	Boomerang KY	J/24	111.9	13:10:52	20	3:20:52	12052	10770		1
TRS	JPN 5131	Boomerang	J/92	102.7	12:59:14	7	3:09:14	11354	11056		2
TRS	JPN 6082	CIERVO	Farr 30	96.0	12:47:38	2	2:57:38	10658	11102		3
TRS	JPN 5933	Dancing Beans III	SEAM 31	101.8	12:58:42	6	3:08:42	11322	11122		4
TRS	JPN 3833	BLUE SHARK	YAMAHA 31S	105.9	13:06:45	19	3:16:45	11805	11147		5
TRS	JPN 2500	HORIZON 6	YOKOYAMA 30RMOD	103.9	13:04:00	13	3:14:00	11640	11203		6
TRS	JPN 5791	HORNET	SEAM 31	101.8	13:01:35	9	3:11:35	11495	11292		7
TRS	JPN 5650	KoNIG	J/V 9.6CR	101.5	13:01:50	11	3:11:50	11510	11340		8
TRS	JPN 5619	AKEA	J/V 9.6CR	100.4	12:59:55	8	3:09:55	11395	11350		9
TRS	JPN 5550	SUPER WAVE VI	SLOT 3 1	102.9	13:05:15	14	3:15:15	11715	11385		10
TRS	JPN 6812	写楽	N/M 30	97.5	12:55:23	5	3:05:23	11123	11408		11
TRS	JPN 6730	Sparky Racing	C&C 30	91.0	12:43:44	1	2:53:44	10424	11455		12
TRS	JPN 5841	Roku 3	SEAM 31	101.8	13:06:09	18	3:16:09	11769	11561		13
TRS	JPN 4774	ARMIS 5	J/V 9.6	101.6	13:05:55	16	3:15:55	11755	11570		14
TRS	JPN 4004	PARAPHRENIAN	First.40.7	95.2	12:55:18	4	3:05:18	11118	11679		15
TRS	JPN 6687	Joker	X-41	91.5	12:48:14	3	2:58:14	10694	11687		16
TRS	JPN 5055	NARUMI	YAMAHA 33S	98.5	13:03:00	12	3:13:00	11580	11756		17
TRS	JPN 6352	SEAFALCON	X-35	97.8	13:01:40	10	3:11:40	11500	11759		18
TRS	JPN 6155	Annex V	First 36.7	99.1	13:06:04	17	3:16:04	11764	11871		19
TRS	JPN 5563	ELDORADO VI	YAMAHA 40RK	97.8	13:05:47	15	3:15:47	11747	12011		20
TRS	JPN 4825	BeBe III	PIONER 9	108.9	DNF		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
TRS	JPN 6764	弥栄 (いやさか)	AIOLOS 26	107.4	DNF		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
TRS	JPN 5333	Oceanid	J/29	106.8	DNF		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
TRS	JPN 3602	Martinique PLUS	SWING 31B	106.0	DNF		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
TRS	JPN 6747	Wind Message II	First 33.7	105.7	DNF		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
TRS WH	JPN 5830	SHIKADAI	YAMAHA 33STR MOD	98.5	11:59:25	1	2:09:25	7765	7883		1





パールレースかく戦えり 東海艇で優勝！ ダンシングビーンズ 安藤

レースが終わってHPの成績を見てがっかり！又しても入賞を逸した。クラス優勝はあるものの、総合の入賞は無い！近年、同クラス艇が総合優勝をさらう偉業を目の当たりにして、我々にも何とかなるのでは？と正直、内心淡い期待を抱くも「もう体力的に難しくなった」とぼやき、うそぶきながら、虎視眈々とスタートラインに向けてヘルムを握ったのに。しかし、なんでいつもこうなのか？ぶつぶつ文句の出ること、出ること。そんな中で誰かは

「東海では1番ですよ」と慰めてくれた。

さて、レースは微風の中11時スタート！ライン中央から流し、タイミング良く出ると、ゼネリコ。風が弱すぎて、船がコントロールできない。その後は本部艇寄りが出るが、間に合わず、失敗！しかし、またしてもゼネリコ。3度目も本部艇寄りでスタート、しかし、あろうことか潮に負けて、押し出されそうになるので、断腸の思いで回ることに。残念ながら、大分遅れてスタート、じりじりするけど、我慢、我慢！これから180マイル、30数時間もあるのに、この数分が何事ぞ！焦る気持ちを抑え、自身を鼓舞しながらヘルムに集中した。

今年はそれほど大変では無かったと思う。全般的に風は弱かったし、ほぼ東寄りで終始6ノット前後、小型艇には有利だと考えていた。タックを繰り返し進む展開になり、その分だけ距離を走る事は仕方が無い、プロパーを北へ、南へ跨ぎながら、止まりそうな僅かな風を探しながら利島を目指す。恐れていた台風5号も迷走してくれたおかげで、殆ど影響は無かった。

スタートの大失敗を早く挽回する事を考えて、大王までには中盤へ追いつけるように頑張ったつもりだったが、速い船は当然、視界から消えて彼方に行ってしまう、遅い船は後方にしっかり付いてくる序盤の展開になった。例年のように距離を稼げる後ろからの風には無縁だった。スタートしてから数時間で大島を越えた。その後はプロパーをやや北寄りに進むことが出来て、この辺りまでは最短のコースで来た。やがて風が北にシフトするので、進路も岸寄りに進む。

航跡を見ると、一旦は浜松沖で沖に舵を切るが、やはり御前崎沖に来るまではプロパーを南北に横切る事を数回繰り返す事になった。深夜、風が北寄りにシフトしたので追っかけるように進路を取ると、船首が石廊崎を向くようになった。夜明けとともに、伊豆半島がうっすらと見えるようになり、数年前の出来事を思い出した。同じようなコースで半島に近づくと、どんどん南に振れて石廊崎をかすめるように、同じタックで進路が利島に向いた事があった。

この時の記憶が脳裏を横切って、ひょっとして同じ事が起きるのではと思っていたが、今回はそうはいかない。相変わらずの東なので、結局、利島に向ける為にもタックを繰り返すことを余儀なくされて、ここからの時間の長かった事。数回のタックの後、明るい内に利島の回航をと思っていたが、実際には日が落ちてからの回航になってしまった。回航後は一気に北に向けて走ることが出来た。ここでも例年と違って大島が近づくにつれて風が落ち、大島ハイウェイと呼ぶにはほど遠く、気付くと付近にいる数艇の航海灯が、闇の中で左右に揺れているのが見えていた。北寄りの風の吹き出しに、大島とは反対のタックを取った為、伊豆半島に向って進んでゆく。大島と半島の真ん中へ来たし、角度が悪くなったので、これ以上は無駄との判断でタック。今度は進路が三浦半島の先端を向いた。ロングレースの鉄則は目標に対して角度の浅い方を走るべし。このまま三浦半島へ寄せる様に走るが、どこまで伸ばすべきか？

頻りにGPSをチェックして、皆に相談する。オーバーセイルを気にするなら、ここいらで？と言うことで江ノ島側へタックを返した。さあ、江ノ島も近いし、入港の準備でE/Gチェックをすると、掛からない！おかしい！スターンまで船内に潜り込んでチェック。異常なし！E/Gカバーを外しチェック。異常なし！直結するか？でも掛からない！数十分の格闘もむなしく、愛艇のE/Gはビクともしなかった。一体、どの位の時間をロスしたのだろうか？定かでは無いが、集中しなければいけない大切な時間を、メンテに浪費してしまった。うっすらと彼方に江ノ島が見えて来たけど、さあ、どうやって入港するかなあ……。指示書を読み返し、所々に、浮いているブイを避けながら、日曜の朝8時47分、フィニッシュが出来た。本部にお願いしてあったボートに曳航されて無事入港。一番奥のクレーン下、何と、神奈川県警の巡視艇の横に舫う事になった。えっ！「事情聴取があるのか？」冗談で誰かが言っていた。とにかく疲れた！気力は完全に削がれてしまった。さすがに、この年で一昼夜を2時間交替でワッチするのは大変。汗を流し、E/G修理が終了すると、帰りの回航組が蒲郡に向けて出発して行った。何とか、気力、体力が続く間に目標を達成したいものだ！陸に上がって考えると2つの要因が思い起こされる。1つは落とし物、タックの拍子に落とし物をして捨てるのに結構な時間を費やした。また、フィニッシュ後のE/Gを気にして悪戦苦闘。モグラの様に船内を潜り、寝転がること数十分。本当に悔やまれる。しかしながら、これがレースで勝負の世界だ！その数日後、デニスコーナーでも調子が良かったのに入賞できなかった。崇られてるか？お祓いをしなければいかんのでは？皆！？



ライフジャケット着用して



栈橋がグラグラ揺れて



いよいよ出発



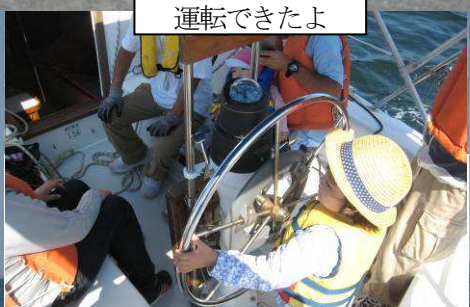
8月19日(土) 形原公民館、ヨット体験乗船 親子34名
スナメリに会いたいな！ 6艇が協力しました。



潮風が気持ち良い

運転できたよ

巨大自動車運搬船を一周



MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号

Sailing World Cup 愛知・蒲郡大会 海面使用について 協力要請があります。

下記日程、注意事項をよく読んでご協力ください。

レースの観戦方法は別途案内されます。事前登録、規制があるようです。 <http://swc-gamagori.jp/>

大会スケジュール 大会会期：2017年10月15日(日) - 10月22日(日)

10月15日(日) 大会受付

10月16日(月) 開会式

10月17日(火) 予選シリーズレース

10月18日(水) 予選シリーズレース

10月19日(木) 予選シリーズレース

10月20日(金) 予選シリーズレース

10月21日(土) 予選シリーズレース、一部種目は決勝レース(メダルレース)

10月22日(日) 決勝レース(メダルレース)、閉会式

※ 大会に先立ち、各チームが前入りしての海上トレーニングが予測されます。

※ 各日のスケジュールは海上気象により変更となる場合があります。

※ 運営艇出艇：10:30 レース艇出艇：11:00 前後 マーク設置：11:30 前後

※ レース：11:55 - 16:00 頃 マーク回収：16:00 頃

※ 10:30 以前、及び 16:00 以降は海面占有使用は無い予定。 11:00 頃より、多数のヨットが出艇してきます。

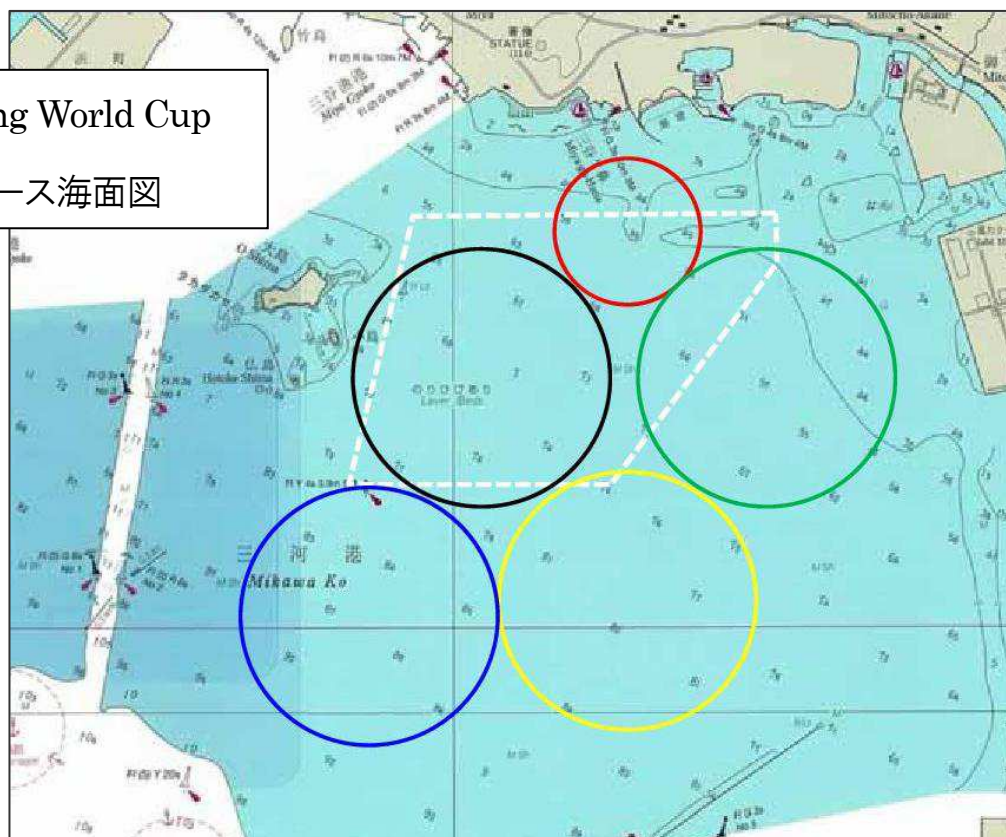
10月16日以前：各日とも10:00頃-16:00頃まで、多数のヨットが10月17日-20日にレースを行うエリアにて海上トレーニングを行います。該当エリア内での航行に十分注意いただけます様御配慮をお願いいたします。

10月17日-10月21日：各日とも10:30以前、および16:00以降は海面の占有使用は行いません。この時間帯は自由に航行下さい。11:00頃より多数のヨットが出艇してきます。11:30頃に各エリアにマークを設置し、16:00頃まで海面の占有使用をさせていただきます。16:00頃に、各エリアに設置したマークを全て回収いたします。11:00から16:00に、近隣マリーナより出航/帰港される船舶はレースエリアを回避いただけます様御協力をお願いいたします。

10月22日：豊田自動織機海陽ヨットハーバーの直近でレースを行います。通常の航行に支障は有りません。

Sailing World Cup

レース海面図



MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号